

俳句をたのしむ 3

—京都の四季と俳句 春

俳句は日本古来からある伝統文化のひとつです。五・七・五のたった十七文字という制限はありますが、むずかしく捉えずに、まずは 心に浮かんだ素直な気持ちを素直に書いてください。

この講座では、俳句の歴史、ルール、俳句の作法、及び俳句における「切れ字」の意義などを中心に分かりやすく、講義します。

今回は、春の季語をテーマに実作実践して、俳句を体感していただきます。当日に「春」に関する作品を発表していただき、丁寧に講義、選評いたします。京都の春を豊かな心で感じとっていただくと嬉しいです。

講師：大森健司

プロフィール

1976年京都市生まれ。同志社大学文学部卒業。

角川源義、角川春樹の主宰する俳句結社「河」に入会、師事。その間に結社賞である、「河」新人賞・角川春樹賞・「河」賞受賞。

第1回俳句現代賞、日本一行詩大賞新人賞等、多数受賞。

2006年、俳句結社「森」設立、及び主宰。京都を中心に句座の文芸の楽しさを広め、後進の指導にあたる。又、言葉のもつ瞬発力、イメージを明確にするコンサルティングを、各種企業、団体に行っている。

京都市芸術文化協会会員。京都国際文化協会会員。俳人協会会員。

代表句集に『あるべきものが、、、』。

日時： 2019年3月23日(土)

午後2時～4時(受付 午後1時半～)

場所： 京都市国際交流会館1階 第1会議室(京都市左京区粟田口鳥居町2-1)

京都市営地下鉄東西線 蹴上駅下車徒歩5分

費用： 各回1,000円(KICA会員無料) 定員：10人

主催： 一般財団法人 京都国際文化協会

お問い合わせ・お申込み： (一財)京都国際文化協会

Tel) 075-751-8958 Mail) kica@kicainc.jp URL) <http://kicainc.jp/>